

1 教職員研修(夏季実技研修会)について

平成28年8月9日、東温市立南吉井小学校において、情報教育委員会・視聴覚教育委員会合同実技研修会を行った。研修会は「子どもたちの学びが変わる！～タブレット端末を活用したこれからの授業づくり～」と題して、松山市立北久米小学校小田浩範教諭に講師を依頼した。参加者は31名であった。

(1) 今求められている授業の在り方

主体的・対話的で深い学びの実現（「アクティブ・ラーニング」の視点からの授業改善）について

次の三つの視点を明確にすることにより、授業やカリキュラムの改善に向けた取組を活性化することができる。タブレット端末は、こうした学びに有効であると考えられる。

【深い学び】

習得・活用・探究の見通しの中で、教科等の特質に応じた見方や考え方を働かせて思考・判断・表現し、学習内容の深い理解につなげる「深い学び」が実現できているか。

【対話的な学び】

子供同士の協働、教師や地域の人との対話、先哲の考え方を手掛かりに考えること等を通じ、自らの考えを広げ深める「対話的な学び」が実現できているか。

【主体的な学び】

学ぶことに興味や関心を持ち、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、見通しを持って粘り強く取組み、自らの学習活動を振り返って、次につなげる「主体的な学び」が実現できているか。

(2) タブレット端末活用模擬授業

2～3人が1台のタブレット端末を使い、まずチームごとに写真を撮る。そして各チームの名前を相談し、写真に書き込む。その後、他のグループに紹介し合う。協働的な学びの初歩を学ぶことができた。



【どんなチーム名にするか話し合い】



【タブレット端末を使った交流】

タブレット端末では、①読む、②見る、③聞く、④書く、⑤書き込む、⑥撮る、⑦動かす、⑧大きくする、⑨見せる、⑩送る、⑪保存するなどができる、こうした機能を適切に使うことが重要である。

(3) 授業アイデアをふくらませよう

生活科「苗のひみつを紹介しよう」

算数科「身の回りの10cmを探そう」

算数科「身の回りの三角形を探そう」

算数科「ながさ」

国語科「すみれとありのひみつをデジタル紙芝居で紹介しよう」

社会科「砥部焼のひみつを知らせよう」

理科 「てこのはたらき」



【苗のひみつの紹介】



【身の回りの10cm探し】

タブレット端末の基本的な機能を使うだけで、子どもたちの学びがパワーアップする、そうしたアイデアを教えていただいた。

(4) タブレット端末活用模擬授業

算数科「かさクイズを作ろう」



【タブレット端末でクイズ作り】



【タブレット端末で交流】

タブレット端末で写真を撮り、クイズを作る。作ったものを見せ合って交流しながら、先生方の個性あふれるアイデアを感じながら、学び合いができた。こうした活動を子どもたちと作り上げていくことで、子どもたちの21世紀型スキルを育てることができると考えた。

(5) タブレット端末活用模擬授業

「南吉井の〇〇ベスト3」を紹介しよう

- ① 3人組で相談して〇〇を決める。
- ② 各自で写真を撮ってくる。
- ③ 撮ってきた写真を紹介し合い、ベスト3を決め、写真を並び替える。
- ④ 全員が同じ話ができるよう、打ち合わせをする。
- ⑤ 各自でタブレット端末を持ち、ジグソーで紹介する。



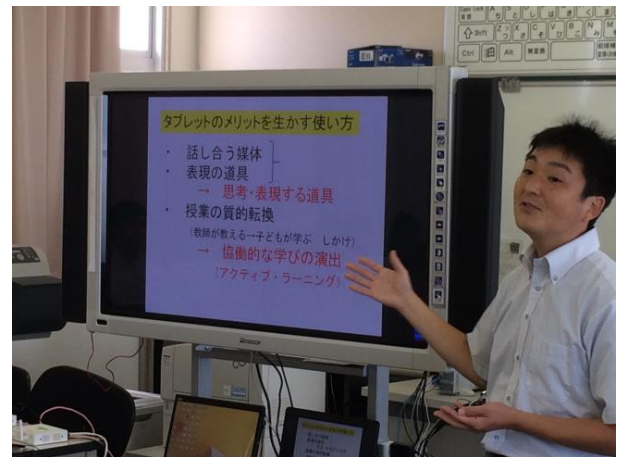
【各自で写真撮影】



【グループの話合い】



【ジグソー学習】



【講師の指導】

タブレット端末は、思考・表現する道具として使い、協働的な学びの演出をすることで、授業の質的転換を図ることが必要である。

2 成果と今後の課題

- タブレット端末の有効な活用で、児童・生徒の協働的な学びができる。機器のよさを知り、シンプルな使い方で成果をあげることができることを研修を通して理解することができた。
- タブレット端末の有効な活用で、児童生徒の学力向上につなげていくことができるが、各校では、まだタブレット端末の整備は十分ではない。どのような使い方ができるか、研究を積み重ねていく必要がある。